

鶴岡ロータリークラブ会報

862

1976-6-29 No.53

鶴岡ロータリークラブ 創立 昭34.6.9 承認 昭34.6.27 353地区
例会場 鶴岡市馬場町 物産館 3階ホール
例会日 毎週火曜日 午後 12.30 ~ 1.30
事務局 鶴岡市馬場町 鶴岡商工会議所内 電 0235 (22) 5775
会長 佐藤 忠 幹事 吉野 勲

◆ 点 鐘

◆ ロータリーソング (手に手つないで)

◆ ビジターゲスト 絡介

◆ 会長報告

◆ 去る27日開催の地区協議会 (郡山) に次年度会長、幹事並びに義務出席の委員長さんごくろうさまでした。

◆ 6月9日は当クラブ創立記念日 (認証6月27日) でございます。

現在では151ヶ国16,721クラブ約785,000人という拡大増強されたわけですが、鶴岡クラブは昭和34年6月、305番目に創立されたのでございます。日本では東京クラブが第1号で大正10年4月1日に誕生しております。

初代会長小花君、②小花君、③三浦君、④佐藤(伊)君、⑤池内君、⑥斎藤(栄)君、⑦張君、⑧早坂君、⑨斎藤(得)君、⑩石黒君、⑪三井(徹)君、⑫小池君、⑬三井(賢)君、⑭阿部(襄)君、⑮安藤君、⑯鈴木君、⑰佐藤(忠)君

◆ 鷺田克己君退会 (6月27日) 財団寄附 ¥10,000

◆ 市民の森の会にご協力お願い

◆ 会長辞任挨拶 (後述)

◆ 幹事報告

◆ 認証状伝達式 備南RC (第369地区) 11月14日 岡山国際ホテル 登録料 10,000円

◆ 会報到着 温海RC、猪苗代RC、遊佐RC

◆ 郡山RCより、RI会長ターゲット及び次期ガバナーの写真到着

◆ 鶴岡ロータリーアクトクラブより鶴岡公園内に吸殻入れ設置につき支援要請の便着

◆ 幹事の任期を終えて (後述)

◆ 「会長、幹事への謝辞」 石黒慶之助君 (後述)

◆ 「第353地区協議会に参加して」 次期会長 鈴木弥一郎君 (後述)

◆ 「ロータリー財団管理委員会に就いて」 ロータリー財団委員長 上野三郎君 (後述)

◆ 「市民の森の会入会について」 職業奉仕委員長 三井 健君
例会終了後申込にご協力下さい (1口 500円以上)

TO DIGNIFY THE HUMAN BEING

人間に威信を!

◆ 委員会報告

- ◆ 職業奉仕委員長 三井 健君
- ◆ 社会奉仕委員長 市川輝雄君
- ◆ 国際奉仕委員長 小池繁治君
- ◆ 世界社会奉仕委員長 山本 正君

(以上各委員長より無事任期終了の謝辞あり)

◆ 「讃辞に加えて」 ガバナー 早坂源四郎君 (後述)

◆ 親睦委員会

- ◆ 佐藤会長、吉野幹事両君より無事任期満了感謝のスマイル
- ◆ 新穂光一郎君、温海万国屋工事完了につきスマイル
- ◆ 会員家族の紹介について

◆ 出席報告

◆ 点 鐘

会長 辞任 挨拶

佐 藤 忠

本日は本年度最終例会でございます。この一年を省み、私自身ロータリアンとして、又会長として一生懸命努力はしたつもりですが、指導力の不十分であったことは深く反省しております。しかしロータリーは有難いもので会長の能力の不足分は皆さんで助け、協力してくれるということです。言葉を変えれば友情におすがりしたという事になりましょうか、おかげさまで昨年7月出発した列車はドン行ではあったが無事終着駅に着いた感が致します。先輩諸兄のご指導と会員諸君のご協力に対して心から感謝とお礼を申し上げる次第でございます。

本年度活動は地味ではあったが、それなりの成果はあったと思っております。3月には例会場の焼失という思いがけないこともあったが、理事をはじめ、SAA各位の機敏な活躍によって、例会も休むことなく実施でき、又、地区ガバナー高坂先生はじめ、近隣クラブよりは心温まる御見舞や激励のことばをいただき、お蔭様で例会場備品、設営等も万端整ったような次第でございます。又、年間最大の事業は何と云っても姉妹クラブ台中港区RC盟約一周年記念式典に一行18名の多数が参加し、友好親善の実を挙げたことであります。海を越えてこれだけ多数会員が同行することは今後共余りないことではないでしょうか。

会員増強10名、ロータリー財団寄附額1,800%、出席率も目標の92%には達し得なかったが何とか、90%の線は確保出来そうであります。又、職業奉仕の事例研究、社会奉仕に於ては、大山自然休養林の樹木標示板と、駅構内市民憲章板取付、その他青少年の諸活動の援助育成に色々貢献されたものと思われます。特に老人福祉に献身されているホームヘルパーのお話を聞き、記念品を贈り、激励したこと等、記憶に残っております。国際奉仕部門は唯今も申し上げた台中港区RCの表敬訪問他、交換学生2名、財団奨学生1名の派遣等がありました。又、親睦、SAA、プログラムの各委員会は楽しい家族会や、例会を盛り上げるため、ご活躍いただいたことに対し、感謝申し上げます。

扱て最後に次のことを提唱し辞任のご挨拶と致します。最近若さいっぱいの新入会員を次々と迎えているわけですが、活動の場を充分与え(委員長等)古い歴史ある鶴岡クラブに更に新しい活力を与えていただきたいと思ひます。そして「昼飯を喰う会」とか、「金持ちの集り」とか、「ロートルクラブ」といわれる汚名を返上し、勇気と決断を以て最高のアイデアによる最大の効果を挙げる努力の必要であることを申し上げ、次年度活動のご健闘をお願い致します。みなさん本当に有難うございました。

任期を終って

幹事 吉 野 勲

本例会をもちまして幹事の任期もいよいよ満了となりました。本当に有難うございました。この一年間経験浅い私でしたが、皆さまの温い友情に支えられ、なんとかこの大任を終らせて頂きますのも皆様の御協力と御指導があったればこそと有難く厚く御礼を申し上げます。

思えば昨年の今頃はこの一年どうやって過すものやらと思って居りました。やることなすことはじめての経験で皆さんには大へん御迷惑をおかけいたしました事も多々あったことと思いますが、私なりに精一杯やったつもりでございます。私の仕事の上にも例会を欠席することもなく、幸い健康にも恵まれ楽しく勉強させて頂いた一年間でございました。又とないこの経験を今後の私の体験として職業人として又ロータリアンとして皆さまと共に奉仕の道に微力をつくしたく考えて居ります。

幸い後任幹事の中江君は非常に経験豊富な知識の持主で行動力の旺盛な方でございますので今後の益々の御活躍と御健斗をお祈りしてバトンタッチをいたしたいと思ひます。この一年本当に有難うございました。

会長・幹事への謝辞

会員代表 石 黒 慶 之 助

本日、今年度最終例会をむかえるに当り、一年間御苦勞をおかけした佐藤忠会長、吉野勲幹事に全会員を代表し感謝の言葉を申し上げます。

今年度はインバッサイ R I 会長のテーマ「人間に威信を。」のもと、高坂知甫ガバナーのご指導により、わがクラブは、佐藤忠会長、吉野勲幹事のリーダーシップよろしく、ロータリーが運営されました。

この1年間、佐藤君、吉野君は第17代目の会長、幹事として会員の親睦を増進し、種々な奉仕活動に大きな実績をあげられました。新会員の増強同化、出席率の向上、S A A の活躍、青少年の育成、財団への協力、或は職業奉仕への関心を高め、高館山遊歩道への樹木の標示板つけ、台中港区 R C への親善訪問団 (18名) の派遣など、数々の業績を挙げられました。3月19日のひさごやの火災による例会場の焼失なども適切な処置により大禍なく善処されました。大変ご苦勞をおかけしたと思ひます。日夜ロータリーに尽されたご苦勞は大変なものであったと思ひます。佐藤会長は広き視野と寛大な襟度とをもってクラブの友愛と信義を重んじて来られたと思ひます。吉野幹事は女房役として人間の和に尽力されたと思ひます。心からその勞をねぎらい、1ヶ年間のご努力に感謝の意を表したく、皆様の絶大な拍手をお願いいたします。有難うございました。

最後に両君は、今晚はゆっくりねむって下さい。次回例会からはお昼の食事も美味しく味わえるであります。しかしロータリーへの真の奉仕活動はこれからであります。豊富な経験を会得され、かくれたる才能を開発された両君の前途は大いに期待されます。今後益々お元気でロータリーのため一層のご活躍をお願いいたします。まことに潜越ながらクラブ会員を代表し謝辞を述べさせていただきます。

第353地区協議会に参加して

次期会長 鈴木 弥 一 郎

過る6月26日～27日の両日に亘り1976～1977年国際ロータリー第353地区協議会が郡山西ロータリークラブのホストにて、会長幹事会は磐梯グランドホテルにて地区協議会、分科会は郡山の開成学園(女子大学)にて開催されました。

当クラブよりは分科会のリーダーである早坂バストガバナー、三井先生の外に次期会長、幹事四大部門の理事、会計、青少年担当の山本理事、財団は佐藤順次副幹事が代表して出席致しました。

地区協議会は高坂ガバナーの挨拶に初められましたが、先づ1976～1977年度の国際ロータリ

ロバートA.マンチェスター会長の、メッセージは奉仕 (Seruice) ロータリーを私は信奉する (I believe in Rotany) と発表されました。

早坂ガバナーエレクトは大変元気に帰国されました。共に奉仕するわれわれの年度と題してスピーチを発表されました。即ちロータリーの目的は奉仕であり、凡ての奉仕の分母は職業奉仕であり、職業奉仕は奉仕の根幹をなすものであると強調されました。

従いまして最もよく奉仕する者、最も多く報いられると言われて居ります通り、奉仕に徹することであると思います。

以上簡単に御座いますが、地区協議会を通して次年度のR I及びガバナーの方針を御伝えして私の報告と致します。

＝ロータリー財団について＝ 財団委員長 上野三郎

先程、財団のボックスを廻しました処¥24,692集りました。皆様の善意を感謝致します。これと先程会長さんより発表のありました。鷺田克己君の特別寄附金を加えまして、次年度ロータリー財団への繰越金と致します。重ねて厚くお礼申し上げます。

尚ロータリー財団管理委員会への送金内訳は次の通りです。

今年度中R I財団管理委員会へ送金した金額の内訳

- ◆前年度からの繰越金.....13,902
- ◆「財団協力の日」の寄附金 (51.5月まで) 210,255
- ◆準フェロー新規申込み (5名) 176,400
- ◆ク 追加寄付 (3名)
- ◆退会々員からの特別寄附.....80,000

計 480,557

＝讃辞に加えて＝ ガバナー 早坂源四郎

先程、石黒先生から最上級の讃辞がありました。全くその通りで、これ以上何にも申し上げることはご座いませんが、尚一言つけ加えさせていただきますと、佐藤会長さんは、天性行政能力を身につけて居られたと申せましょう。各委員会とのバランスをよくとり、良くコントロールして来た処に、その管理、行政能力は100%と申し上げます。全く名会長の名に相応しいことと存じます。

又、幹事の吉野さん、何時も、何にも知らぬ様なことを申し乍ら、何時の間にか、仕事を総て覚えられ、運営能力を身につけ、会長補佐をこれ又100%発揮して、会長、幹事のバランスのとれた、その運営は誠に見事なものでした。と申しますのも、このお二人を支えて来た裏方さん、各委員長及委員の方々の努力に讃辞を贈りたいと思います。

特に、SAA、会報、プログラム、親睦等の活躍と努力、又ロータリーの基本とされる四大奉仕部門の連繫とバランスのとれたチームワークは誠に立派なクラブ活動と申せます。当クラブは県下でも名門クラブであります。それに相応しい当年の運営と活動であったと思います。何卒今後共一層のご精進をお願いして、簡単ですがご挨拶と致します。 以上

出席報告

本日 の席	会 員 数 75名 出 席 数 57名 出 席 率 76.00%	欠 席 者	阿部(公)君、阿部(襄)君、半田君、五十嵐(三)君、板垣(俊)君、玉城君、上林君、風間君、嶺岸君、三井(賢)君、斎藤(栄)君、斎藤(信)君、佐藤(友)君、石倉君、高橋(良)君、谷口君、鷺田(克)君、藪田君
前回 の席	前回出席率 76.00% 修正出席数 65名 確定出席率 86.67%	メ ア 1 ツ ク ブ	斎藤(信)君—東京城東RC 角田君—酒田RC 阿部(公)君、五十嵐(三)君、玉城君、風間君、小松君、石倉君—鶴岡西RC
ビ ジ タ ー	石寺龍象君、長野正彦君、上野十九治君、原田行雄君、半田勇三郎君、羽根田正吉君—鶴岡西RC		米次秀治君—米沢西RC 佐藤昭吉君—温海RC